

強いぞ！羽生のサッカー

HANYU カメラさんぽ



9月7日(日)

サッカーの祭典、市町村対抗戦兼県民総体の決勝戦が埼玉スタジアムで行われました。県内の市町村34チームが参加し、羽生市の選抜チーム(FCエルフ)がなんと優勝！決勝戦は接戦となりましたが、延長の末に2対0で前年優勝の入間市に勝利。埼玉県No.1おめでとうございます！

新米を食べたい！



9月9日(火)

東京都葛飾区立東柴又小の生徒たちが、三田ヶ谷地内の田んぼで、稲刈りに挑戦。羽生市と葛飾区は、中川の上流と下流に位置し交流を深めてきました。その名も『「葛飾・ほくさい」交流プロジェクト』。子どもたちは、慣れないかまに苦戦しながらも楽しそうに稲を刈りました。

ぼくが切手になったよ！

9月23日(祝)

キャッセ羽生で秋まつりを開催。魚のつかみどりやヨーヨー風船つりなどのイベントが行われるなか、四季の丘では紙ひこうき大会が行われました。子どもたちは、手作り紙飛行機で距離を競い合い、楽しいひとときを過ごしました。



9月9日(火)

発戸にお住いの黒田ふみさんが100歳を迎え、河田市長がお祝いに駆けつけました。ふみさんは、鯉のあらいが大好き。杖をついて歩いて散歩もしているそうです。いつまでもお元気で！

こんなにたくさん！



10月2日(木)

南中学校の生徒が中央公園の草取りをしてくれました。膝丈ほども伸びた草に悪戦苦闘しながらも、かまを使って一生懸命。生徒たちは、きれいになった公園に爽やかな笑顔を見せてくれました。



ムジナもん切手シート

10月1日(水)

ムジナもん仲間たちがデザインされた郵便切手が発売されました。この切手シートには80円切手が10枚入っています。1シート1,200円、2000シートが用意され、市内だけでなく県北の郵便局で販売。また、この日ムジナもんが郵便局長を務め、PRしました。

おめでとうございます！



9月15日(祝)

市内各地域で75歳以上の方々(5,966人)を対象に、敬老会が開催されました。中でもダイヤモンド婚(結婚60年)を迎えられたご夫婦が37組もいました。これからも、お体に気をつけて仲良く過ごしてくださいね。

今月号から表紙の一コマを飾ってくれるのが、「羽生の身近な自然」です。市内で見かける動植物を、写真を交えて紹介していきます。この原稿を寄せてくれるのは、「羽生の自然を楽しむ会」の小林浩人さんです。これから、よろしくお願ひします。また、平成14年10月号から「羽生のさかな」を担当してくれたのは、さいたま水族館の矢辺 徹さんでした。矢辺さんは72回6年間にわたり、羽生市を中心とする川や池等にすむ魚や貝、両生類などを紹介してくれました。中には絶滅の危機にひんしている魚などもあり、自然について改めて考えさせられました。長い間、本当にありがとうございました。これからも、さいたま水族館で頑張ってください。



9月6日、埼玉県職員野球大会の準決勝・決勝戦が行われ、羽生市役所野球部が出場。私も熊谷運動公園にカメラを持って応援。駆けつけた2回の裏、なんと4対0で羽生市が優勢。仲間の勇姿をレンズにおさめようと必死にシャッターを切る。3回の表、絶好調の羽生市は次から次へと打順が回り、全員のプレーを撮ることができました。また、ヘルメットには、「気合いの入ったムジナもん」。キャラクターもみんなの士気を高めているよう。気付けば19対1で5回コールド勝ち。決勝戦では東松山市に惜しくも敗れたものの、県で準優勝という輝かしい成績を納めました。応援に駆けつけた多くの仲間と共に、喜びを味わうことが出来ました。